

問1 日本に旧石器時代があったことを示すきっかけとなった、群馬県にある遺跡の名前は何か。

1. 岩宿遺跡 2. 三内丸山遺跡 3. 板付遺跡 4. 吉野ヶ里遺跡

問2 聖武天皇が、国分寺の建立や大仏づくりを命じたのは、どのような目的からですか。

1. 仏教の力で不安定な世の中をしずめ、国をおさめるため 2. 厳しい法律をつくって、人々の行動を制限するため 3. 新しい都をつくって、外国との貿易をさかんにするため 4. 外国の軍隊と戦って、国の領土を広げるため

問3 今から1万年以上前の、日本が大陸と陸続きだった時代を何といいますか。

1. 旧石器時代 2. 縄文時代 3. 弥生時代 4. 古墳時代

問4 平城京のまちづくりにおいて、手本とされたのはどこの国の都ですか。

1. 朝鮮のソウル 2. 中国（唐）の長安 3. 日本の平安京 4. インドの都

問5 藤原道長とともに、11世紀前半に藤原氏の最も栄えた時代を築いた、道長の子は誰ですか。

1. 頼通 2. 頼朝 3. 義満 4. 重盛

問6 青森県で発見された、縄文時代の建物の跡がのこる有名な遺跡はどれですか。

1. 岩宿遺跡 2. 吉野ヶ里遺跡 3. 三内丸山遺跡 4. 登呂遺跡

問7 平等院鳳凰堂の説明として、正しいものはどれですか。

1. 藤原頼通が、極楽浄土の教えに基づいて東京都につくった。 2. 藤原頼通が、キリスト教の教えに基づいて京都府宇治市につくった。 3. 聖武天皇が、極楽浄土の教えに基づいて京都府宇治市につくった。 4. 藤原頼通が、極楽浄土の教えに基づいて京都府宇治市につくった。

問8 平清盛が中国（宋）との貿易をさかんにするために、修理して整えた兵庫の港は、現在の何という港ですか。

1. 神戸港 2. 横浜港 3. 長崎港 4. 博多港

問9 平安時代を代表する小説である「源氏物語」は、どのような文字を使って書かれましたか。

1. ローマ字 2. カタカナだけの文章 3. かな文字 4. 漢字だけの文章

問10 奈良時代に、多くの民衆の協力をあつめて大仏づくりに大きく貢献した僧侶はだれでしょう。

1. 聖徳太子 2. 行基 3. 最澄 4. 鑑真

問11 中大兄皇子らが天智の改新を始めたのは、どのような国づくりを目指すためですか。

1. 貴族を中心とする国づくり 2. 天皇を中心とする国づくり 3. 豪族を中心とする国づくり 4. 武士を中心とする国づくり

問12 縄文時代の人々が、食べ終わった貝がらや動物の骨などを捨てた場所のことを何といいますか。

1. 貝塚 2. 高地性集落 3. 竪穴住居 4. 古墳

問13 磨製石器が使われるようになったのは、日本の歴史のどの時代ですか。

1. 弥生時代 2. 縄文時代 3. 旧石器時代 4. 古墳時代

問14 平治の乱という戦いに勝ち、武士として初めて「太政大臣（だいじょうだいじん）」という高い位について政治の実権をにぎった人物はだれですか。

1. 足利尊氏 2. 源頼朝 3. 平清盛 4. 織田信長

問15 古墳時代とは、どのような時代ですか。

1. 外国から仏教が伝わってきた時代 2. 全国各地に古墳がつくられた時代 3. 縄文土器が初めて使われ始めた時代 4. 全国で米づくりが始まったばかりの時代

問16 青森県にある三内丸山遺跡は、どのような遺跡ですか。

1. 弥生時代の水田の跡が発見された遺跡 2. 古墳時代の大きなお墓が発見された遺跡 3. 縄文時代の建物の跡が発見された遺跡 4. 旧石器時代の石の道具だけが発見された遺跡

問17 奈良時代に、中国（唐）から日本へ招かれて仏教の教えを伝えた僧侶はだれでしょう。

1. 鑑真 2. 行基 3. 聖徳太子 4. 最澄

問18 794年に京都に平安京がつくられた目的として、正しいものはどれですか。

1. 不安定だった政治を立て直すため 2. 地方の反乱を武力でおさえるため 3. 外国との貿易をさかんにするため 4. 新しい仏教を全国に広めるため

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 1 岩宿遺跡	群馬県にある岩宿遺跡は、日本における旧石器時代の存在を明らかにした重要な遺跡です。
問2	答え 1 仏教の力で不安定な世の中をしずめ、国をおさめるため	聖武天皇は、不安定な世の中を仏教の力でしずめ、国をおさめようと考えました。
問3	答え 1 旧石器時代	今から1万年以上前で、日本が大陸と陸続きだった時代を旧石器時代といいます。
問4	答え 2 中国（唐）の長安	当時の日本は、中国の進んだ政治や文化を取り入れていました。平城京は、中国の都である長安を手本にして、道路をごぼんの目のように整然と区切ってつくられた計画的な都市です。
問5	答え 1 頼通	藤原道長は、子の頼通とともに藤原氏の最も栄えた時代を築きました。
問6	答え 3 三内丸山遺跡	青森県にある三内丸山遺跡では、縄文時代の建物の跡がたくさん発見されました。
問7	答え 4 藤原頼通が、極楽浄土の教えに基づいて京都府宇治市につくった。	平等院鳳凰堂は、藤原頼通が現在の京都府宇治市に、極楽浄土の教えに基づいてつくった阿彌陀堂です。
問8	答え 1 神戸港	平清盛は宋との貿易を行うために兵庫の港を修理しました。この港は、現在の兵庫県にある神戸港にあたります。
問9	答え 3 かな文字	源氏物語は、当時の日本で使われ始めた「かな文字」を使って書かれているのが特徴です。
問10	答え 2 行基	行基は民衆から深く信頼されていた僧侶です。聖武天皇が奈良に大仏をつくろうとしたとき、行基が呼びかけたことで、多くの民衆が労働力として大仏づくりに参加しました。なお、鑑真は日本に正式な戒律を伝えるために中国から来日した人物です。
問11	答え 2 天皇を中心とする国づくり	大化の改新は、一部の豪族ではなく、天皇を中心とした国づくりを進めるために始められた改革です。
問12	答え 1 貝塚	縄文時代の人々が、貝がらや動物の骨などのゴミを捨てた跡のことを貝塚といいます。
問13	答え 2 縄文時代	磨製石器は、石をみがいてつくられた石器のことで、縄文時代から使われ始めました。
問14	答え 3 平清盛	平清盛は、平治の乱に勝利したあと、武士として初めて太政大臣になり政治の実権をにぎりました。
問15	答え 2 全国各地に古墳がつくられた時代	古墳時代は、全国各地に古墳と呼ばれる大きなお墓がつくられた時代のことです。
問16	答え 3 縄文時代の建物の跡が発見された遺跡	三内丸山遺跡は、青森県にある縄文時代の建物の跡が発見された遺跡です。
問17	答え 1 鑑真	鑑真は、当時の中国（唐）から、日本の人々に仏教の正しい教えやルールを伝えるためにやってきました。何回もの危険な航海を乗り越えて日本にたどり着いたことでも有名です。
問18	答え 1 不安定だった政治を立て直すため	平安京は、不安定だった政治を立て直すことを目的として、794年に京都につくられました。

問1 縄文時代の人々が、食べ終わった貝がらや動物の骨などを捨てた場所のことを何といいますか。

1. 貝塚 2. 高地性集落 3. 竪穴住居 4. 古墳

問2 聖武天皇が、全国の国ごとに「国分寺」を建てるよう命じた一番の目的は何ですか。

1. 大きな都を作るための労働力を集めるため 2. 他の国との貿易を盛んにするため 3. 新しい漢字や文化を広めるため 4. 仏教の力で国を安定させるため

問3 藤原道長とともに、11世紀前半に藤原氏の最も栄えた時代を築いた、道長の子は誰ですか。

1. 頼通 2. 頼朝 3. 義満 4. 重盛

問4 奈良時代に、中国（唐）から日本へ招かれて仏教の教えを伝えた僧侶はだれでしょう。

1. 鑑真 2. 行基 3. 聖徳太子 4. 最澄

問5 高床倉庫は、あるものから米を守り、安全にたくわえておくために床を高くしてつくられました。守ろうとした「あるもの」とは何ですか。

1. 日光 2. 強い風 3. 湿気 4. 寒さ

問6 青森県で発見された、縄文時代の建物の跡がのこる有名な遺跡はどれですか。

1. 岩宿遺跡 2. 吉野ヶ里遺跡 3. 三内丸山遺跡 4. 登呂遺跡

問7 聖徳太子は、どのような豪族と協力して天皇中心の新しい国づくりを進めようとしたか。

1. 源氏 2. 蘇我氏 3. 物部氏 4. 平氏

問8 鑑真が日本で仏教を教えるために建てた、奈良にあるお寺の名前は何でしょう。

1. 唐招提寺 2. 清水寺 3. 法隆寺 4. 東大寺

問9 天皇が成長したあとに、天皇を助けて政治の実権をにぎる役職を何といいますか。

1. 関白 2. 摂政 3. 国司 4. 征夷大將軍

問10 律令のもとで、人々に課せられた重い負担のうち、稲をおさめるもの、労働や布をおさめるもの、特産物をおさめるものなどをまとめて何と呼びますか。

1. 冠位十二階 2. 班田収授法 3. 十七条の憲法 4. 租・庸・調

問11 青森県にある三内丸山遺跡は、どのような遺跡ですか。

1. 弥生時代の水田の跡が発見された遺跡 2. 古墳時代の大きなお墓が発見された遺跡 3. 縄文時代の建物の跡が発見された遺跡 4. 旧石器時代の石の道具だけが発見された遺跡

問12 中国や朝鮮半島から日本に移り住み、新しい技術や文化を伝えた人々のことを何と呼びますか。

1. 遣隋使 2. 渡来人 3. 縄文人 4. 弥生人

問13 藤原頼通が現在の京都府宇治市につくった、極楽浄土の教えによる阿彌陀堂は何ですか。

1. 唐招提寺金堂 2. 平等院鳳凰堂 3. 法隆寺五重塔 4. 東大寺大仏殿

問14 794年に、不安定だった政治を立て直すために京都につくられた都は何ですか。

1. 難波京 2. 平安京 3. 平城京 4. 長岡京

問15 奈良時代に、聖武天皇が仏教の力を使って国を守ろうとして、奈良の都に建てた有名なお寺は何でしょう。

1. 清水寺 2. 法隆寺 3. 東大寺 4. 金閣寺

問16 昔の人は、なぜ『古事記』のような歴史書を作る必要があったのでしょうか。その理由として正しいものはどれでしょう。

1. 邪馬台国の女王を紹介するため 2. 漢字を練習するため 3. 海外の人に物語を教えるため 4. 国家としての歴史や伝統を整えるため

問17 聖徳太子が小野妹子らを遣隋使として中国に送ったのは、どのような目的のためですか。

1. 中国に日本の仏像や寺を売りこむため 2. 中国と戦争をして領土を広げるため 3. 中国の文化や学問、政治のしくみを取り入れるため 4. 中国から米や麦などの食べ物を輸入するため

問18 奈良時代に、聖武天皇が大切にしていた品物や、当時の貴重な宝物を守るために、東大寺の境内に建てられた特別な「倉」のことを何といいますか。

1. 唐招提寺 2. 平城宮 3. 正倉院 4. 法隆寺

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 1 貝塚	縄文時代の人々が、貝がらや動物の骨などのゴミを捨てた跡のことを貝塚といいます。
問2	答え 4 仏教の力で国を安定させるため	聖武天皇は、当時の社会が不安定で人々の不安が大きかったことから、仏教の力によって国全体を平和で安定した状態にしようと考えました。そのため、日本各地の「国」ごとに国分寺というお寺を建てることを命じ、仏教を通じた国づくりを進めました。
問3	答え 1 頼通	藤原道長は、子の頼通とともに藤原氏の最も栄えた時代を築きました。
問4	答え 1 鑑真	鑑真は、当時の中国（唐）から、日本人の人々に仏教の正しい教えやルールを伝えるためにやってきました。何回もの危険な航海を乗り越えて日本にたどり着いたことでも有名です。
問5	答え 3 湿気	高床倉庫は、収穫した米を湿気などから守るために、床を高くしてつくられました。
問6	答え 3 三内丸山遺跡	青森県にある三内丸山遺跡では、縄文時代の建物の跡がたくさん発見されました。
問7	答え 2 蘇我氏	聖徳太子は、当時の有力な豪族であった蘇我氏と協力して、新しい国づくりを進めました。
問8	答え 1 唐招提寺	鑑真は日本にやってきた後、弟子たちと一緒に唐招提寺を建てました。このお寺は、当時の仏教を学ぶための大切な拠点となり、今の時代までその文化が受け継がれています。
問9	答え 1 関白	天皇が成長したあとに、天皇を補佐して政治の実権をにぎる役職を関白といいます。
問10	答え 4 租・庸・調	律令のもとで人々に課せられた重い負担は、租・庸・調と呼ばれます。それぞれ稲、労働や布、特産物をおさめるものでした。
問11	答え 3 縄文時代の建物の跡が発見された遺跡	三内丸山遺跡は、青森県にある縄文時代の建物の跡が発見された遺跡です。
問12	答え 2 渡来人	中国や朝鮮半島から日本に移り住んだ人々は「渡来人」と呼ばれ、日本に様々な新しい技術や文化をもたらしました。
問13	答え 2 平等院鳳凰堂	藤原頼通が京都府宇治市に建てた、極楽浄土の教えに基づく阿弥陀堂を平等院鳳凰堂といいます。
問14	答え 2 平安京	794年に、不安定だった政治を立て直すために京都につくられた都を平安京といいます。
問15	答え 3 東大寺	聖武天皇は、仏教の力を信じ、国を平和にしようと考えました。その中心として奈良に建てられたのが東大寺であり、そこには巨大な大仏が作られました。国分寺（こくぶんじ）が日本各地に建てられたのとあわせて、奈良時代の仏教を象徴する施設です。
問16	答え 4 国家としての歴史や伝統を整えるため	大和政権が国として安定してくる中で、自分たちの国の成り立ちや歴史を公式な記録としてまとめることが、国を治める上で必要だったからです。そのため、古事記や日本書紀が作られました。邪馬台国よりも後の時代に作られた歴史書です。
問17	答え 3 中国の文化や学問、政治のしくみを取り入れるため	遣隋使は、当時の中国（隋）の進んだ文化や学問、政治のしくみを日本に学んで取り入れるために送られました。
問18	答え 3 正倉院	聖武天皇が使っていた品々や、当時の日本と外国との交流を示す大切な宝物を長く守り続けるために建てられた施設です。今でいう博物館のような役割を果たしており、奈良時代の文化を知るための重要な手がかりとなっています。

問1 古墳の内部にある、亡くなった人の遺体をほうむるための部屋を何といいますか。

1. 埴輪 2. 竪穴住居 3. 堀 4. 石室

問2 藤原頼通が現在の京都府宇治市につくった、極楽浄土の教えによる阿弥陀堂は何ですか。

1. 唐招提寺金堂 2. 平等院鳳凰堂 3. 法隆寺五重塔 4. 東大寺大仏殿

問3 高床倉庫は、あるものから米を守り、安全にたくわえておくために床を高くしてつくられました。守ろうとした「あるもの」とは何ですか。

1. 日光 2. 強い風 3. 湿気 4. 寒さ

問4 聖徳太子は、どのような豪族と協力して天皇中心の新しい国づくりを進めようとしたか。

1. 源氏 2. 蘇我氏 3. 物部氏 4. 平氏

問5 奈良時代につくられた「万葉集」は、どのような特徴をもつ作品ですか。

1. 貴族のくらしをえがいた日本で最初の物語であること 2. 仏教の教えを全国に広めるためにつくられた本であること 3. 日本で最も古いとされる和歌集であること 4. 日本で最初に書かれた歴史の記録であること

問6 のぼりがまという新しい製法を使ってつくられた、弥生土器よりも薄くてじょうぶな古墳時代の土器は何ですか。

1. 埴輪 2. 縄文土器 3. 須恵器 4. 弥生土器

問7 藤原道長とともに、11世紀前半に藤原氏の最も栄えた時代を築いた、道長の子は誰ですか。

1. 頼通 2. 頼朝 3. 義満 4. 重盛

問8 奈良時代につくられた、日本で最も古いとされる和歌集の名前は何ですか。

1. 日本書紀 2. 源氏物語 3. 古今和歌集 4. 万葉集

問9 縄文土器は、縄のもようがあることのほかに、どのような目的で使われましたか。

1. 金属の道具を作るため 2. 米をたくさん育てるため 3. 家を組み立てるため 4. 食べ物を煮たり、たくわえたりするため

問10 石を打ちかいてつくった石器で、旧石器時代に使われていたものは何ですか。

1. 打製石器 2. 磨製石器 3. 青銅器 4. 土器

問11 弥生時代に、稲の穂を摘み取って収穫するために使われていた石で作られた道具を何といいますか。

1. 石鏃 2. 打製石斧 3. 磨製石斧 4. 石包丁

問12 古墳の中に、武器や祭りの道具などが一緒に納められたのはなぜだと考えられていますか。

1. 新しい家として使うため 2. ゴミを捨てる場所だったため 3. 農作業の道具を保管するため 4. 亡くなった人の権力を示すため

問13 推古天皇を助ける摂政となり、豪族の蘇我氏と協力して、天皇を中心とする新しい国づくりを進めようとした人物はだれですか。

1. 小野妹子 2. 中臣鎌足 3. 中大兄皇子 4. 聖徳太子

問14 天皇が成長したあとに、天皇を助けて政治の実権をにぎる役職を何といいますか。

1. 関白 2. 摂政 3. 国司 4. 征夷大將軍

問15 金属器のうち、銅鐸や銅ほこなどの青銅器は、当時どのような目的で使われたと考えられていますか。

1. 豊作を祈るため 2. 家を建てるため 3. 食べ物を煮るため 4. 衣服をぬうため

問16 昔の人は、なぜ『古事記』のような歴史書を作る必要があったのでしょうか。その理由として正しいものはどれでしょう。

1. 邪馬台国の女王を紹介するため 2. 漢字を練習するため 3. 海外の人に物語を教えるため 4. 国家としての歴史や伝統を整えるため

問17 奈良時代に、聖武天皇の命令によって「国ごとに建設」されることになった寺院の名前は何ですか。

1. 法隆寺 2. 東大寺 3. 唐招提寺 4. 国分寺

問18 縄文土器と比べて薄くて硬いという特徴があり、弥生時代に使われるようになった土器は何ですか。

1. 弥生土器 2. 縄文土器 3. 土偶 4. 埴輪

問19 藤原氏が栄えたころに、都の貴族を中心に生まれた、優美ではなやかな日本風の文化を何といいますか。

1. 国風文化 2. 天平文化 3. 鎌倉文化 4. 飛鳥文化

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 4 石室	古墳の内部にある、遺体をほうむるための部屋を石室といいます。この部屋には、鏡や剣、勾玉なども一緒に納められました。
問2	答え 2 平等院鳳凰堂	藤原頼通が京都府宇治市に建てた、極楽浄土の教えに基づく阿弥陀堂を平等院鳳凰堂といいます。
問3	答え 3 湿気	高床倉庫は、収穫した米を湿気などから守るために、床を高くしてつくられました。
問4	答え 2 蘇我氏	聖徳太子は、当時の有力な豪族であった蘇我氏と協力して、新しい国づくりを進めました。
問5	答え 3 日本で最も古いとされる和歌集であること	万葉集は、奈良時代につくられた日本最古の和歌集として知られています。
問6	答え 3 須恵器	のぼりがまという新しい製法でつくられた、薄くてじょうぶな土器を須恵器といいます。
問7	答え 1 頼通	藤原道長は、子の頼通とともに藤原氏の最も栄えた時代を築きました。
問8	答え 4 万葉集	万葉集は、奈良時代につくられた日本最古（最も古い）の和歌集です。
問9	答え 4 食べ物を煮たり、たくわえたりするため	縄文土器は、食べ物を煮る（煮炊きする）ことや、食物をたくわえておくために使われました。
問10	答え 1 打製石器	石を打ちかいてつくった石器を打製石器と呼び、旧石器時代に使われていました。
問11	答え 4 石包丁	稲の穂を茎から切り取って収穫するための道具です。稲の穂を傷つけないように、平らな石に穴を開けてひもを通し、指にはさんで使われていました。他の選択肢の斧は木を切ったり土を掘ったりする道具、石鏃は矢じりとして使われていました。
問12	答え 4 亡くなった人の権力を示すため	古墳に納められた武器や道具は「副葬品」と呼ばれます。これらは、亡くなった人が生前どれほど力を持っていたかや、どのような役割を担っていたかを示すために、豪華なものを選びられました。あくまで有力者の権威をあらわすためのものです。
問13	答え 4 聖徳太子	推古天皇の摂政として、蘇我氏と協力しながら天皇中心の国づくりを目指した人物は聖徳太子です。
問14	答え 1 関白	天皇が成長したあとに、天皇を補佐して政治の実権をにぎる役職を関白といいます。
問15	答え 1 豊作を祈るため	銅鐸や銅ほこなどの青銅器は、豊作を祈るための祭りなどで使われたと考えられています。
問16	答え 4 国家としての歴史や伝統を整えるため	大和政権が国として安定してくる中で、自分たちの国の成り立ちや歴史を公式な記録としてまとめることが、国を治める上で必要だったからです。そのため、古事記や日本書紀が作られました。邪馬台国よりも後の時代に作られた歴史書です。
問17	答え 4 国分寺	聖武天皇が全国に建てるよう命じたのは国分寺です。東大寺は国分寺の総本山として特別な役割を持っていましたが、国分寺という名称自体は、全国各地に建てられた寺院を指す言葉です。
問18	答え 1 弥生土器	弥生時代に使われるようになった、縄文土器よりも薄くて硬い土器を弥生土器といいます。
問19	答え 1 国風文化	藤原氏が栄えたころに都の貴族を中心に生まれた、優美ではなやかな日本風の文化を国風文化といいます。

問1 平清盛が武士として初めて就任した「太政大臣」とは、どのような役職ですか。

1. 朝廷の最高位の役職 2. 仏教の儀式をとりおこなう役職 3. 幕府を開くための役職 4. 地方の政治を監視する役職

問2 昔の税制度である「租」が、当時の国にとってどのような役割を果たしていたといえますか。

1. 国が使うお米を集めて財政を支える仕組み 2. 農民の土地を増やすための資金源 3. 外国との貿易で使うための布を集める仕組み 4. 農民に仕事を教えるための特別な制度

問3 奈良時代に、中国（唐）から日本へ招かれて仏教の教えを伝えた僧侶はだれでしょう。

1. 鑑真 2. 行基 3. 聖徳太子 4. 最澄

問4 平城京に都がつくられてから、都が京都に移されるまでの約80年間の時代を何とといいますか。

1. 飛鳥時代 2. 平安時代 3. 奈良時代 4. 鎌倉時代

問5 金属器のうち、銅鐸や銅ほこなどの青銅器は、当時どのような目的で使われたと考えられていますか。

1. 豊作を祈るため 2. 家を建てるため 3. 食べ物を煮るため 4. 衣服をぬうため

問6 古墳時代に、大和朝廷を率いていた王のことを何とよびますか。

1. 大王 2. 貴族 3. 將軍 4. 執権

問7 奈良時代に、多くの民衆の協力をあつめて大仏づくりに大きく貢献した僧侶はだれでしょう。

1. 聖徳太子 2. 行基 3. 最澄 4. 鑑真

問8 中国や朝鮮半島から日本に移り住み、新しい技術や文化を伝えた人々のことを何と呼びますか。

1. 遣隋使 2. 渡来人 3. 縄文人 4. 弥生人

問9 奈良時代の律令制度において、農民が収穫した稲の約3パーセントを国に納める税のことを何とといいますか。

1. 租 2. 庸 3. 調 4. 雑徭

問10 中臣鎌足とともに大化の改新を始めた中大兄皇子は、のちに何という天皇になりましたか。

1. 天智天皇 2. 推古天皇 3. 天武天皇 4. 聖武天皇

問11 推古天皇を助ける摂政となり、豪族の蘇我氏と協力して、天皇を中心とする新しい国づくりを進めようとした人物はだれですか。

1. 小野妹子 2. 中臣鎌足 3. 中大兄皇子 4. 聖徳太子

問12 平治の乱という戦いに勝ち、武士として初めて「太政大臣（だいじょうだいじん）」という高い位について政治の実権をにぎった人物はだれですか。

1. 足利尊氏 2. 源頼朝 3. 平清盛 4. 織田信長

問13 石を打ちかいてつくった石器で、旧石器時代に使われていたものは何ですか。

1. 打製石器 2. 磨製石器 3. 青銅器 4. 土器

問14 土地や用水をめぐるむらどうしの争いの中で、強い力をもつようになったむらの指導者のことを何と呼びますか。

1. 大名 2. 豪族 3. 武士 4. 貴族

問15 604年に定められた、政治を行う役人の心構えを示したきまりは何ですか。

1. 墾田永年私財法 2. 大宝律令 3. 冠位十二階 4. 十七条の憲法

問16 8世紀の初めに、今の奈良県につくられた新しい都の名前は何か。

1. 平安京 2. 長安 3. 鎌倉 4. 平城京

問17 藤原道長とともに、11世紀前半に藤原氏の最も栄えた時代を築いた、道長の子は誰ですか。

1. 頼通 2. 頼朝 3. 義満 4. 重盛

問18 古墳の内部にある、亡くなった人の遺体をほうむるための部屋を何とといいますか。

1. 埴輪 2. 竪穴住居 3. 堀 4. 石室

問19 平清盛が武士として初めて就任した、朝廷の最高位の役職は何ですか。

1. 関白 2. 征夷大將軍 3. 摂政 4. 太政大臣

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 1 朝廷の最高位の役職	太政大臣は朝廷における最も高い位の役職で、平清盛は武士の身分からこの地位にのぼりつめました。
問2	答え 1 国が使うお米を集めて財政を支える仕組み	「租」は農民が苦勞して育てた稲の収穫高から納められるものでした。当時の国は、集められた大量の稲を国家の財政を支える大切な資源として活用し、国としての仕組みを整えていました。
問3	答え 1 鑑真	鑑真は、当時の中国（唐）から、日本人々に仏教の正しい教えやルールを伝えるためにやってきました。何回もの危険な航海を乗り越えて日本にたどり着いたことでも有名です。
問4	答え 3 奈良時代	平城京に都がつくられてから、都が京都に移されるまでの約80年間の時代を奈良時代といいます。
問5	答え 1 豊作を祈るため	銅鐸や銅ほこなどの青銅器は、豊作を祈るための祭りなどで使われたと考えられています。
問6	答え 1 大王	古墳時代に大和朝廷をまとめていた王は「大王（おおきみ）」とよばれていました。
問7	答え 2 行基	行基は民衆から深く信頼されていた僧侶です。聖武天皇が奈良に大仏をつくろうとしたとき、行基が呼びかけたことで、多くの民衆が労働力として大仏づくりに参加しました。なお、鑑真は日本に正式な戒律を伝えるために中国から来日した人物です。
問8	答え 2 渡来人	中国や朝鮮半島から日本に移り住んだ人々は「渡来人」と呼ばれ、日本に様々な新しい技術や文化をもたらしました。
問9	答え 1 租	律令制度のもとで定められた「租」は、農民が収穫した稲の一部を国に納める基本的な税のことです。他の税には、布などを納める「調」や、都での労働を義務づける「庸」などがありましたが、収穫した稲を納めるものは「租」と呼ばれていました。
問10	答え 1 天智天皇	中大兄皇子は、大化の改新を始めたあと、のちに天智天皇となりました。
問11	答え 4 聖徳太子	推古天皇の摂政として、蘇我氏と協力しながら天皇中心の国づくりを目指した人物は聖徳太子です。
問12	答え 3 平清盛	平清盛は、平治の乱に勝利したあと、武士として初めて太政大臣になり政治の実権をにぎりました。
問13	答え 1 打製石器	石を打ちかいてつくった石器を打製石器と呼び、旧石器時代に使われていました。
問14	答え 2 豪族	土地や用水をめぐる争いを通じて、むらをまとめ、強い力をもつようになった指導者を豪族と呼びます。
問15	答え 4 十七条の憲法	604年に定められた、政治を行う役人の心構えを示したきまりを「十七条の憲法」といいます。
問16	答え 4 平城京	710年に奈良（当時の名前は平城）に移された都です。平安京はその後、京都（平安）に移された都であり、長安は中国の唐の都で、平城京をつくる際のモデルとされました。
問17	答え 1 頼通	藤原道長は、子の頼通とともに藤原氏の最も栄えた時代を築きました。
問18	答え 4 石室	古墳の内部にある、遺体をほうむるための部屋を石室といいます。この部屋には、鏡や剣、勾玉なども一緒に納められました。
問19	答え 4 太政大臣	平清盛は、武士として初めて朝廷の最高位である太政大臣に就任し、大きな権力をにぎりました。

問1 奈良時代に、多くの民衆の協力をあつめて大仏づくりに大きく貢献した僧侶はだれでしょう。

1. 聖徳太子 2. 行基 3. 最澄 4. 鑑真

問2 平安時代の貴族のやしきで、びょうぶやふすまに日本の自然を題材にしてえがかれた絵を何といいますか。

1. 水墨画 2. 大和絵 3. 浮世絵 4. 肖像画

問3 聖武天皇が、全国の国ごとに「国分寺」を建てるよう命じた一番の目的は何ですか。

1. 大きな都を作るための労働力を集めるため 2. 他の国との貿易を盛んにするため 3. 新しい漢字や文化を広めるため 4. 仏教の力で国を安定させるため

問4 青森県で発見された、縄文時代の建物の跡がのこる有名な遺跡はどれですか。

1. 岩宿遺跡 2. 吉野ヶ里遺跡 3. 三内丸山遺跡 4. 登呂遺跡

問5 聖徳太子が小野妹子らを遣隋使として中国に送ったのは、どのような目的のためですか。

1. 中国に日本の仏像や寺を売りこむため 2. 中国と戦争をして領土を広げるため 3. 中国の文化や学問、政治のしくみを取り入れるため 4. 中国から米や麦などの食べ物を輸入するため

問6 土地や用水をめぐるむらどうしの争いの中で、強い力をもつようになったむらの指導者のことを何と呼びますか。

1. 大名 2. 豪族 3. 武士 4. 貴族

問7 弥生時代の集落には、なぜ「堀（ほり）」や「さく」が作られるようになったのでしょうか。

1. 米づくりをするための道具をしまうため 2. 神様にお祈りをするための祭壇を作るため 3. 雨風をしのいで住居を長持ちさせるため 4. 他の集落との争いから村を守るため

問8 弥生時代に、稲の穂を摘み取って収穫するために使われていた石で作られた道具を何といいますか。

1. 石鏃 2. 打製石斧 3. 磨製石斧 4. 石包丁

問9 弥生時代の暮らしについて、正しく説明しているものはどれですか。

1. 土器は厚手で装飾が激しい縄文土器を使っていた 2. 大陸から伝わった米づくりの技術が広まった 3. 狩りや採集が中心で、お米を作ることとはなかった 4. 集落のまわりに堀やさくを作る必要は全くなかった

問10 金属器のうち、銅鐸や銅ほこなどの青銅器は、当時どのような目的で使われたと考えられていますか。

1. 豊作を祈るため 2. 家を建てるため 3. 食べ物を煮るため 4. 衣服をぬうため

問11 奈良時代につくられた、日本で最も古いとされる和歌集の名前は何か。

1. 日本書紀 2. 源氏物語 3. 古今和歌集 4. 万葉集

問12 聖徳太子が仏教を信仰し、国を平和にしようとして奈良県に建てた、世界最古の木造建築物がある寺はどこですか。

1. 四天王寺 2. 東大寺 3. 法隆寺 4. 唐招提寺

問13 中大兄皇子らが大化の改新を始めたのは、どのような国づくりを目指すためですか。

1. 貴族を中心とする国づくり 2. 天皇を中心とする国づくり 3. 豪族を中心とする国づくり 4. 武士を中心とする国づくり

問14 奈良時代の農民が、都から遠く離れた場所へ兵士として送られたり、土木工事にかり出されたりしたのはなぜですか。

1. 貴族よりも高い給料がもらえたから 2. 農民が自分の意思で希望したから 3. 農業以外の技術を身につけるため 4. 国から決められた義務として働く必要があったから

問15 3世紀の前半に、女王の卑弥呼が30ほどの国を従えておさめていた国はどこですか。

1. 奴国 2. 大和国 3. 狗奴国 4. 邪馬台国

問16 邪馬台国の女王である卑弥呼が、中国の魏に使いを送ったことによって授けられたものは何ですか。

1. 鉄製の武器やよろい 2. 漢字や暦の教科書 3. 仏像や仏教の経典 4. 倭王の称号や金印

問17 743年に、聖武天皇が仏教の力で国を守るためにつくることを命じた、大きな仏像は何ですか。

1. 東大寺の大仏 2. 唐招提寺の鑑真像 3. 法隆寺の釈迦三尊像 4. 薬師寺の薬師三尊像

問18 佐賀県にある、弥生時代後半の代表的な遺跡はどれですか。

1. 岩宿遺跡 2. 吉野ヶ里遺跡 3. 登呂遺跡 4. 三内丸山遺跡

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 2 行基	行基は民衆から深く信頼されていた僧侶です。聖武天皇が奈良に大仏をつくろうとしたとき、行基が呼びかけたことで、多くの民衆が労働力として大仏づくりに参加しました。なお、鑑真は日本に正式な戒律を伝えるために中国から来日した人物です。
問2	答え 2 大和絵	平安時代の貴族のやしきで、びょうぶやふすまに日本の自然を題材にしてえがかれた絵を大和絵といいます。
問3	答え 4 仏教の力で国を安定させるため	聖武天皇は、当時の社会が不安定で人々の不安が大きかったことから、仏教の力によって国全体を平和で安定した状態にしようと考えました。そのため、日本各地の「国」ごとに国分寺というお寺を建てることを命じ、仏教を通じた国づくりを進めました。
問4	答え 3 三内丸山遺跡	青森県にある三内丸山遺跡では、縄文時代の建物の跡がたくさん発見されました。
問5	答え 3 中国の文化や学問、政治のしくみを取り入れるため	遣隋使は、当時の中国（隋）の進んだ文化や学問、政治のしくみを日本に学んで取り入れるために送られました。
問6	答え 2 豪族	土地や用水をめぐる争いを通じて、むらをまとめ、強い力をもつようになった指導者を豪族と呼びます。
問7	答え 4 他の集落との争いから村を守るため	米づくりが始まり、食料を蓄えるようになると、豊かな村を狙って他の集落との争いが起こるようになりました。そのため、大切な食料や人々を守るために、集落のまわりに深い溝である「堀」を掘ったり、「さく」を立てたりして防御するようになったと考えられています。
問8	答え 4 石包丁	稲の穂を茎から切り取って収穫するための道具です。稲の穂を傷つけないように、平らな石に穴を開けてひもを通し、指にはさんで使われていました。他の選択肢の斧は木を切ったり土を掘ったりする道具、石鍬は矢じりとして使われていました。
問9	答え 2 大陸から伝わった米づくりの技術が広まった	大陸から伝わった米づくりの技術が日本に広まり、人々の生活が大きく変わったのが弥生時代です。これに伴い、薄くて硬い「弥生土器」が使われるようになりました。狩りや採集が中心だった縄文時代とは異なり、食料を蓄えるようになったことで、集落を守るための「堀」や「さく」が作られるようになったのが特徴です。
問10	答え 1 豊作を祈るため	銅鐸や銅ほこなどの青銅器は、豊作を祈るための祭りなどで使われたと考えられています。
問11	答え 4 万葉集	万葉集は、奈良時代につくられた日本最古（最も古い）の和歌集です。
問12	答え 3 法隆寺	聖徳太子が奈良県に建てた法隆寺には、世界で最も古い木造の建物が残されています。
問13	答え 2 天皇を中心とする国づくり	大化の改新は、一部の豪族ではなく、天皇を中心とした国づくりを進めるために始められた改革です。
問14	答え 4 国から決められた義務として働く必要があったから	当時の農民は、自分の土地で農業を行うことに加えて、国に対して決まった義務を果たすことが強く求められていました。そのため、都の建設や寺院の建立、辺境の守りなどの大変な仕事も、国からの命令があれば逆らうことなく従わなければなりませんでした。
問15	答え 4 邪馬台国	3世紀の前半に、女王の卑弥呼が30ほどの国を従えておさめていた国は邪馬台国です。
問16	答え 4 倭王の称号や金印	卑弥呼は中国の魏に使いを送り、交流の証しとして倭王の称号や金印などを授けられました。
問17	答え 1 東大寺の大仏	743年に聖武天皇の命令によってつくられた、仏教の力で国を守るための大きな仏像は、東大寺の大仏です。
問18	答え 2 吉野ヶ里遺跡	佐賀県にある吉野ヶ里遺跡は、弥生時代後半の様子を今に伝える代表的な遺跡です。